

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェブ

第183号

映像制作

【参加報告】

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 第3ブロック(関東)映像制作担当者研修会

1月31日(金)、標記研修会が埼玉聴覚障害者情報センター(さいたま市)で開催され、6施設から7人の担当者が集まり当施設から職員2人が参加しました。今年度は制作技術向上を目的とした内容で、参加者は事前にシナリオを作成し臨みました。当日はグループに分かれ、意見を出し合い、基本的な撮影・編集をベースに1作品を完成させました。基本操作で制作を行い、映像制作への取り組みやすさを感じました。



次の研修会まで、目で聴くテレビへの番組提供、ホームページへの動画アップ、養成講習会記録撮影など、各施設で継続的に映像制作に取り組み、困った時は情報交換し協力しあうことを確認して研修を終えました。今回、シナリオを持ち寄り、グループですすめた工程は、職員間で共有し今後の業務に活かしていきたいと思えます。

相談事業

【参加報告】

第33回全国ろうあ者相談員研修会・ 第24回全国職業安定所手話協力員等研修会 兼ろうあ者労働問題フォーラム



1月24日(金)～25日(土)、大阪府浪速区民センターにて、標記フォーラムが開催され職員1人が参加しました。1日目の午前は「労働・相談のチーム支援について」大阪労働局職業安定部職業対策課地方障害者雇用担当官の真銅申一氏の講演があり、午後の全体会では相談・支援のチーム構築についてグループ討議が行われました。2日目は4つの分科会ごとに討議を行い、全体会で報告。報告に対して真銅氏が講評する形で進められました。

1日目の講演の中で、全国の障害者雇用の現状についてと大阪市独自の取り組み「就労系福祉サービス体験会ワナビ」についての話がありました。2日目は第1分科会の「事例検討」に参加し、それぞれの地域における事例に対し解決策を出し合う形で進めました。それぞれの地域での取り組み方を目にする事ができ、参考になりました。今後の業務に活かしていきたいと思えます。



ラポール上大岡がオープンしました!

1月9日(木)、ラポール上大岡の開所式と内覧会が行われました。

各種事業の本格スタートは4月ですが、現在、施設見学や説明会、利用登録などが始まっています。

※説明会参加の際に手話通訳等をご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

障害者スポーツ文化センターラポール上大岡

京浜急行・市営地下鉄「上大岡」駅下車 ゆめおおおかオフィスタワー6階～8階

お問い合わせ: TEL: 045-840-2151

FAX: 045-840-2157

普及・啓発事業

【実施報告】

出前講座 すずかけヘルパーステーション

昨今、介護保険サービスを利用される聴覚障害者も増えています。その中で支援者の方から、「聴覚障害をもつ利用者との意思疎通がうまく図れない」「信頼関係を築きにくい」といったお声を聞くことが多々あります。

そこで今回は、「支援者向けの出前講座」を企画しました。「なぜ行き違うのか」「ちょっとした手話を覚えて支援に活かしたい」「聞こえない人に対応する時のポイントを教えてほしい」など、日常の支援に実践、活用できる方法をお話します。

1月15日（水）すずかけヘルパーステーション（瀬谷区）にて出前講座を開催し、音声に頼らないコミュニケーションの工夫を、ゲームを用いながら体験していただきました。「目や顔の表情が大切だとわかった」「対応するときには具体的に聞いた方が良いことがわかった」などの感想をいただきました。

2月には居宅介護支援の事業所等2ヶ所（港北区、鶴見区）で実施しました。出前講座は普及・啓発事業担当の金子・伏原までお問い合わせください。



PTA対象 横浜ラポール見学会

1月17日（金）、横浜市立ろう特別支援学校のPTAを対象に見学会を行い、12人の保護者が参加されました。当施設の事業説明をした後に、話題のパラスポーツ『ボッチャ』の体験会を行いました。見学後は「横浜ラポールは時々利用しているが、今まで知らなかったことがたくさんあり、とても勉強になった」「ボッチャ体験も楽しかった。次回は是非、子どもと一緒に利用したい」といった感想をいただきました。今回は新しい試みとして、パラスポーツ体験を見学会に盛り込んでみました。今後も当施設だけでなく、スポーツや文化活動等で幅広く、横浜ラポールを利用していただけるといった企画を考えていきたいと思えます。



難聴通園児の保護者向け見学会

1月29日（水）、当事業団難聴幼児課の「障害認識支援プログラム」で当施設見学が行われました。保護者7人を対象に、当施設の聞こえない職員3人が対応し、自らの体験を踏まえ、聞こえない子どもたちの成長過程の中でどのようなことを想定しておくべきかといった話をさせていただきました。参加者からは「初めて知ることばかりで参考になった」「皆様のお仕事をされている姿や体験談を伺って、わが子に重ねあわせて聞いていた」「手話は素晴らしい言語だと思った」等の感想が聞かれました。

連携事業

【参加報告】

手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会

2月1日（土）～2月2日（日）、神明いきいきプラザ（東京都）にて標記研修会が行われ、職員1人が参加しました。また、近隣自治体の養成事業関係者22人の参加がありました。1日目は、「講師のための会話トレーニングの学習」をテーマにした講義と演習を行いました。「的確な質問」と「活発な会話」が、手話の習得には重要だということが理解できました。テキストには、自由型の質問文（Wh疑問文）は載っているが、選択型の質問文（YES/NO疑問文）が少ないため、意識的に選択型疑問文を会話の中に取り入れることが大切だと学びました。

2日目には、手話言語を第二言語として教えるための心構えと基本知識を学びました。第二言語を習得する上で、第一言語の影響を受けても問題がない場合と、影響を受けることで第二言語の取得を妨げる場合があることがわかりました。今後は、手話講習会の講師とも情報を共有し、指導力の向上を目指していきたいです。



研修事業

【実施報告】

非常勤手話通訳者 専門研修

今年度3回目の専門研修は、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科非常勤講師の性全幸氏をお迎えし、「通訳現場の振り返り」というテーマで研修を行いました。パワーポイントを使用した15分間の講演模擬通訳を2回行い、それぞれの通訳を比較し「どこが違うのか、何が違うのか」を具体的に分析するという内容でした。複数派遣の模擬通訳という設定でしたが、一人派遣の現場が多い非常勤通訳者にも応用できる内容であり、これまでの振り返りの方法を見直す機会になりました。また、複数派遣では同行者とともに助け合いながら作っていく連携の大切さも改めて確認できました。

手話通訳者・要約筆記者 合同研修

「聴覚障害のある人とコミュニケーションと心理～よりよい通訳活動のために～」



2月1日（土）、臨床心理士・手話通訳士の広津侑実子氏をお招きし、標記テーマで研修を行い82人が出席しました。

講師は心理学をご専門とされ、全国手話研修センター主催の研修会での指導や、横浜市立ろう特別支援学校のカウンセラーもされています。よりよい通訳活動をするためには、対象者の特徴、意思疎通支援という活動の特徴、各場面の特徴をそれぞれ多角的に把握すること、そして業務後は振り返りをし、ストレス解消法を仲間でシェアする大切さについてもお話し頂きました。今後も通訳者の健康管理に繋がる研修を計画していきます。

普及啓発事業

【参加報告】

「浜の会 茶話会」「浜の会 ミニデイサービス」

12月9日（月）、浜の会茶話会（主催：神奈川ろうヘルパー連絡会かもめの会「浜の会」、横浜市聴覚障害者協会）が横浜市西区福祉保健活動拠点フクシアで行われ、職員2人が参加しました。茶話会には、付き添いの方やスタッフも含めて約20人の参加がありました。クリスマスの前でしたので、スタッフの方が手作りされたケーキなどを食べながら楽しく歓談しました。当施設からは、年末年始の通訳派遣に関する諸注意や救急事案が発生した際の対応についてなども説明を行いました。

また、12月22日（日）に行われたミニデイサービスにも参加し、参加者との交流を深めました。今後も積極的に関係団体と連携をとりながら啓発に取り組んで参ります。

連携事業

「神奈川県・県内政令市障害者スポーツ交流会」

2月11日（火・祝）横浜ラポールにて「神奈川県・県内政令市障害者スポーツ交流会」～もうひとつのいばらき大会～（主催：横浜市、当事業団）が開かれました。これは、昨年10月の「第19回全国障害者スポーツ大会」が台風19号の影響により全日程、全競技が中止となったことを受け、これまでの練習の成果を発揮していただくことを目的に、急遽開催が決まったものです。

当日は卓球、フライングディスク、水泳、ボウリング、アーチェリーの選手が62人参加しました。選手からは「茨城大会が中止になり悔しい思いをしていたが、このような交流会を企画してくれたことで気持ちに区切りがついた。今年10月の鹿児島大会に向けて、これからもトレーニングに励みたい」という感想がありました。選手の皆様のこれからの活躍を応援したいと思います。



新型コロナウイルス感染症の相談窓口について

【厚生労働省の相談窓口】

TEL : 0120-565653 (フリーダイヤル)

FAX : 03-3595-2756

メール : corona-2020@mhlw.go.jp

・受付時間 : 9時00分～21時00分 (土日・祝日も実施)

※詳しくは一般財団法人全日本ろうあ連盟ホームページへ

※内容が分からない方は当施設までお問い合わせください

全日本ろうあ連盟の
ホームページ



出た！データ！

(1月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	5,045	156	5,201	5,190	医療	90	182
司法	45	0	45	57	職業	26	75
教育・保育	723	54	777	672	教育	4	5
労働・雇用	585	112	697	696	住宅	37	90
社会生活	1,602	83	1,685	1,575	生活	206	377
自己啓発	165	49	214	281	福祉	120	260
福祉推進	983	1,160	2,143	2,247	法律	12	29
相談員	1	0	1	3	聞こえ	14	20
他都市	140	12	152	175	合計	509	1,038
合計	9,289	1,626	10,915	10,896	昨年同月	507	948
昨年同月	9,044	1,852	10,896				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	33	参加人数	794	自主制作作品数	55
要約筆記	回数	27	参加人数	640		

情報の動き

1月

4日 仕事始め
7日 手話養成運営委員会
9日 ラポール上大岡開所式
10日 防災点検
11日 浜身連新年のつどい
14日 視聴覚機器点検
15日 啓発事業出前講座
15日 要筆現任研修 (8/9)
17日 市立ろう特別支援学校PTA
施設見学対応
17日 健福局定例打合せ
19日 令和元年度事業見直し会議
20日 手話専門研修
24～25日 全国ろうあ者相談員研修会
(大阪)
27日 衛生委員会

28日 第三ブロック研修打合せ
29日 手話派遣事業運営委員会
30日 非常勤手話採用説明会
31日 第三ブロック映像制作担当者
研修会 (埼玉)

2月

1日 手話・要約全体研修
1～2日 手話奉仕員養成リーダー研修
(東京)
3日 手話1年次研修 (6/6)
3日 手話養成運営委員会 (横聴協)
6日 要筆養成修了式 (浜難聴)
6日 きこえ相談事業運営委員会
6日 非常勤手話採用説明会
6日 災害対策横浜市域本部会議

7日 要筆試験委員会 (浜難聴)
10日 手話養成検討会 (浜難聴)
11日 もうひとつの茨城大会
12日 要筆現任研修 (9/9)
12日 防災点検
13日 全聴情協第三ブロック研修
(情文センター)
18日 手話養成リーダー会 (横聴協)
15日 要筆登録試験準備 (浜難聴)
16日 要筆登録試験 (浜難聴)
17日 市立ろう特別支援学校高等部
見学対応
17日 衛生委員会
19日 非常勤手話通訳採用試験
26日 主管局定例会

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日 : 令和2年2月28日

発行者 : (社福) 横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>